

EPOC2

E-Portfolio of Clinical training

— 臨床研修制度見直しに対応した新しいEPOC —

(一社) 国立大学病院長会議 EPOC運営委員会
高橋 誠
(北海道大学 大学院医学研究院 医学教育・国際交流推進センター)

1

臨床研修の到達目標、方略及び評価の見直しのポイント

現行の研修の到達目標についての指摘	臨床研修の到達目標、方略及び評価の見直しのポイント
① 行動目標と経験目標から構成されているが、その内容について必ずしも目標、方略、評価に分けられていない	➡ 1. 到達目標の項目の整理 ○ 新たな臨床研修の到達目標については、「目標」とそれを達成するための「方略」、及びその「評価」に分けて整理
② 人口動態や疾病構造の変化、医師養成全体の動向等に配慮すべき	➡ 2. 卒前教育との整合性 ○ 到達目標、方略、評価について、卒前教育のモデル・コア・カリキュラム等との連続性を考慮 ➢ 到達目標、方略、評価を整合的に設定
③ 入院医療から外来医療への移行をはじめとした医療提供体制の変化等について、適切に踏まえるべき	➡ 3. 研修項目の充実 ○ 一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、内科、外科、小児科、産婦人科、精神科、救急、地域医療を必修化 ○ 臨床推論や外来での研修を充実させるため、一般外来における研修を方略に位置づけた
④ 「経験すべき症状・病態・疾患」等については、当該項目を「経験する」ことが基本となっているが、診療能力の評価をさらに重視すべき また、評価方法が様々であるため評価方法の標準化が必要	➡ 4. 評価方法の標準化 ○ 評価の標準化のため、評価票及び評価方法を提示 ○ 臨床研修の到達目標の項目毎に、臨床研修医に求められる研修の程度を提示(マイルストーン)
⑤ 項目が細分化されており、簡素化が必要	➡ 5. 項目の簡素化 ○ 「経験すべき症状」と「経験すべき疾病・病態」を簡素化 ➢ 「経験すべき症状」 52項目 → 29項目 ➢ 「経験すべき疾病・病態」 88項目(7割以上) → 26項目 ➢ ▲ 疾患(入院症例レポートが必要)、自覚症(外来、入院での経験が必要)を整理し、上記項目を全て経験することを ➢ レポート作成を廃止し、日常業務で作成する病歴要約を確保

厚生労働省 医道審議会医師分科会医師臨床研修部会 報告書 参考資料 (H30.3.30) より

2

EPOCをバージョンアップ EPOC2

- 1. 入力を簡単に** → 携帯端末での入力をデフォルトに
 - ・負担無く簡便に登録できる
- 2. 新たな評価票、360度評価に対応**
 - ・UMIN IDを持たない医療スタッフもQRコードで評価を入力できる
- 3. ポートフォリオ機能も搭載** → 将来の専門医申請に活用できる
 - ・経験症例インデックスの作成
 - ・研修活動の記録
- 4. (将来) 学生実習/専門研修との連携が可能に**
 - ・学生時代の実習記録の閲覧
 - ・専門研修プログラム登録に必要なデータ提供 など

3

EPOC2 オンライン臨床教育評価システム

E-Portfolio of Clinical training

UMIN 大学病院医療情報ネットワークセンター EPOC
(University hospital Medical Information Network)

インターネット

研修医

指導医
上級医

看護師
その他医療職

研修統括部門

プログラム管理者

- 国立大学附属病院長会議で開発 (2020年度運用開始)
- 厚労省施行通知 (医師臨床研修ガイドライン) に準拠
- 携帯端末 (スマホ) で入力
- 使用料金: @3,000円 (1研修医が研修修了まで)

4

臨床研修の到達目標、方略及び評価達成度評価の構造 (2019.2.26版)

到達目標

医師としての基本的素養 (プロフェッショナリズム)

1. 社会的責任と公衆衛生への関与
2. 科学的知識
3. 人間性
4. 自らを高める姿勢

資質・能力

1. 医学・医療における倫理性
2. 医学知識と臨床対応能力
3. 診療技能と患者ケア
4. コミュニケーション能力
5. チーム協働の能力
6. 医療の質と安全管理
7. 社会における医療者の役割
8. 科学的思考
9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

基本的診療業務

1. 一般内科診療
2. 診療技能
3. 診療技能対応
4. 地域医療

到達目標の達成度評価

研修医の到達目標達成度評価の構造

評価項目: 4段階評価 (1: 未達成、2: 未達成に近い、3: 達成に近い、4: 達成)

評価者: 指導医、上級医、医師以外

評価材料: 臨床推論、病歴要約、症例記録、指導医・上級医確認、臨床現場での評価、指導医・上級医、振り返り記録、研修医、講義会・研修会要録、研修医、学術活動、研修医、感染対策、予防医療、虐待への対応、社会復帰支援、総務QA、ACP、CIC等の研修の記録、研修医

研修管理委員会

研修終了時の自己評価

研修終了時の振り返り

研修終了時の達成度評価

研修終了時の達成度評価

研修終了時の達成度評価

EPOC2へ

登録必須の情報

研修終了判定

5

研修医がやること

研修医評価票

ローテーション終了時
評価者: 指導医、上級医、医師以外

A. 医師としての基本的価値 (プロフェッショナリズム)
4項目: 4段階評価

B. 資質・能力
9項目: 7段階評価 (F0322項目: 4段階評価)

C. 基本的診療業務
4項目: 4段階評価

随時の研修記録

経験症例/疾病、病態の記録: 研修医
病歴要約: 研修医/指導医・上級医確認
臨床現場での評価: 指導医・上級医
振り返り記録: 研修医
講義会・研修会要録: 研修医
学術活動: 研修医
感染対策、予防医療、虐待への対応、社会復帰支援、総務QA、ACP、CIC等の研修の記録: 研修医

ポートフォリオ

研修管理委員会

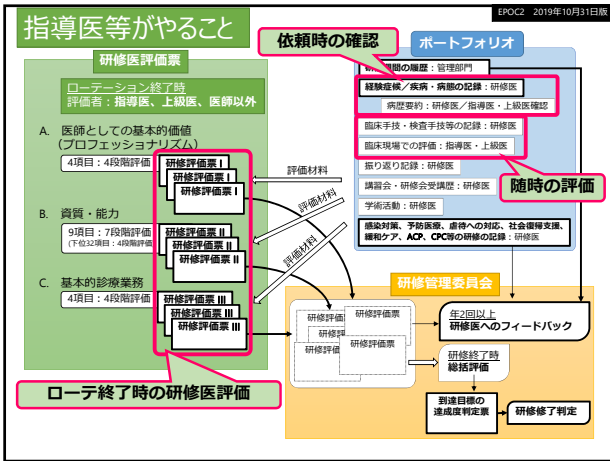
2年以上
研修医へのフィードバック

研修終了時
総括評価

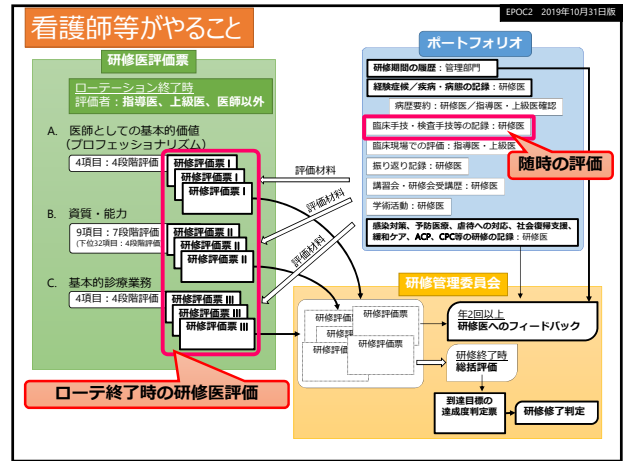
到達目標の達成度判定票

研修終了判定

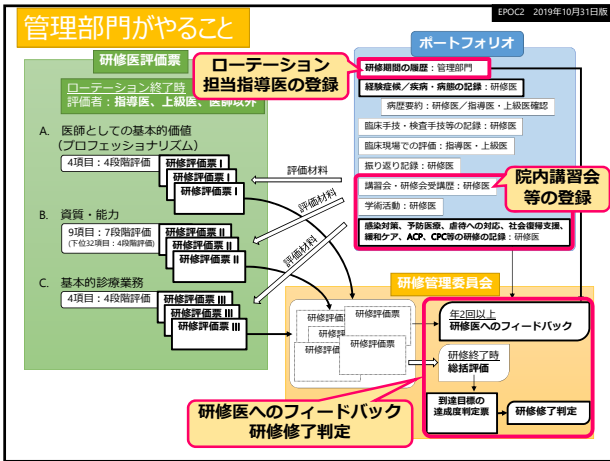
6



7



8



9

10

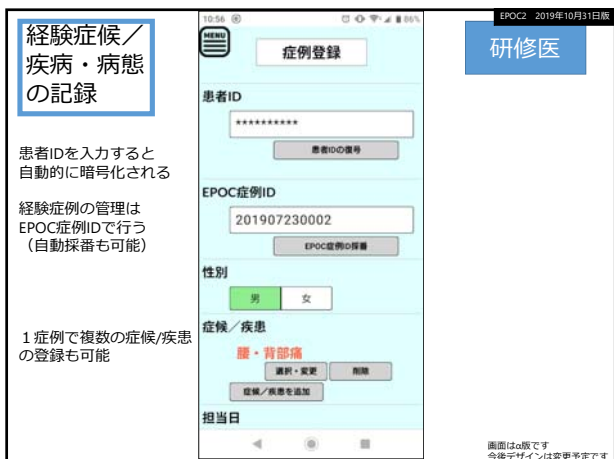
UMIN IDがない評価者は、QRコードを読み取れば、評価が入力できる

インターネット接続可能なスマホを持たない場合
↓
対応例
・病棟師長にUMIN IDを取得してもらおう
・紙で評価し代行入力など

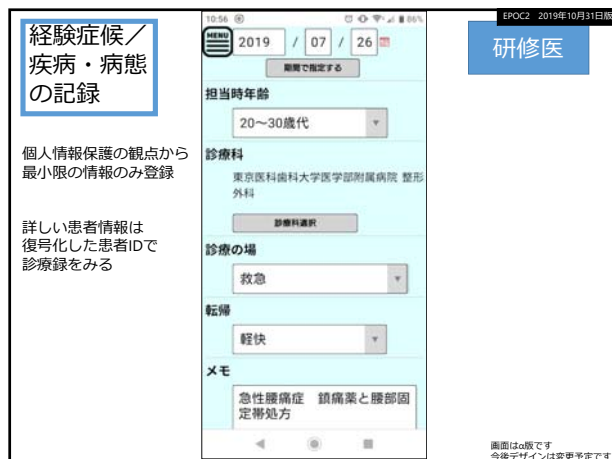
11

症候/疾病・病態一覧から登録したいものを選択

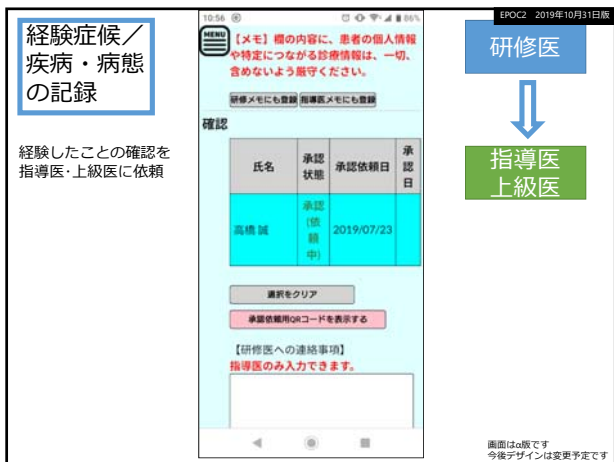
12



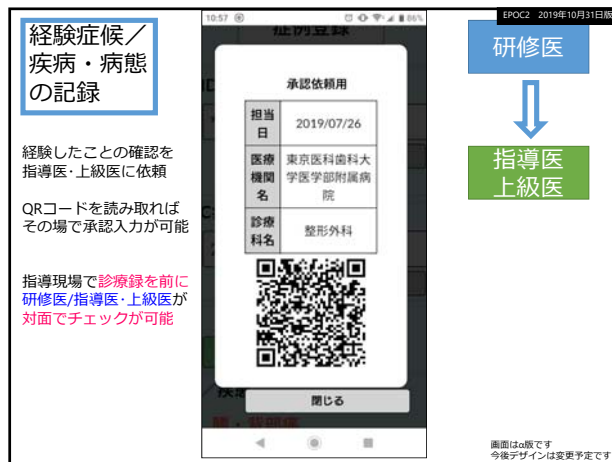
13



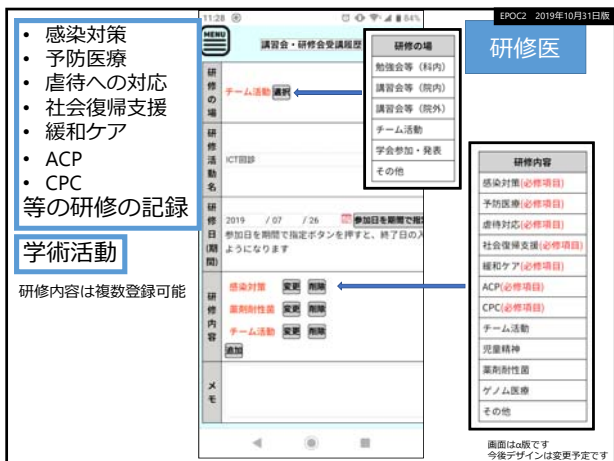
14



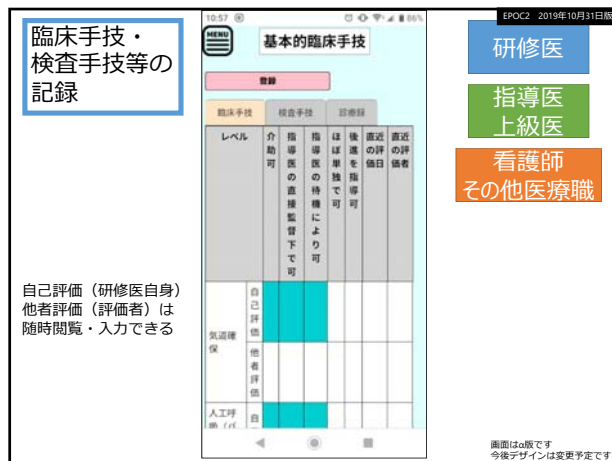
15



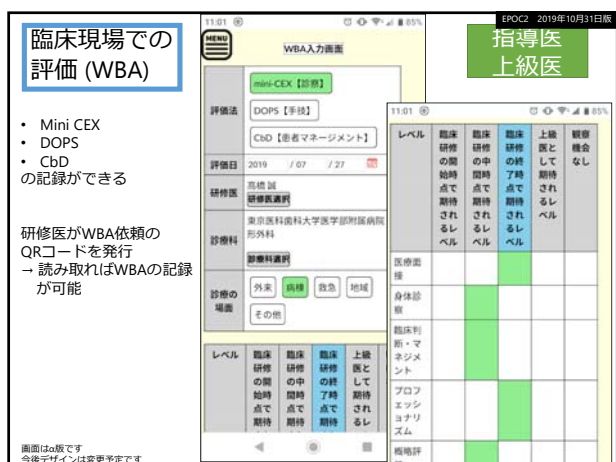
16



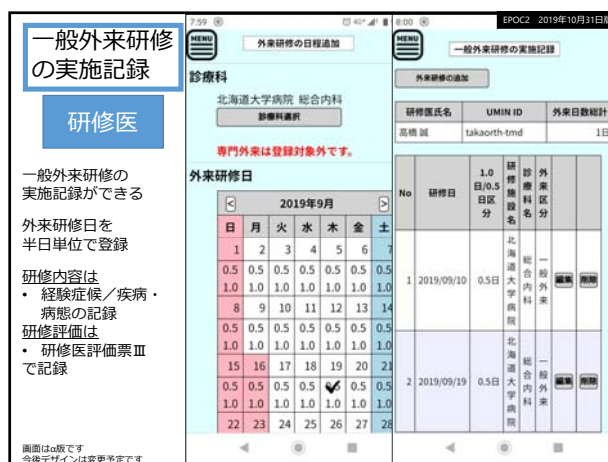
17



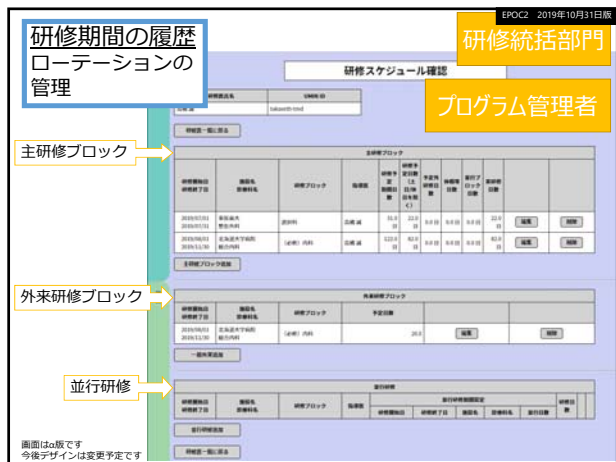
18



19



20



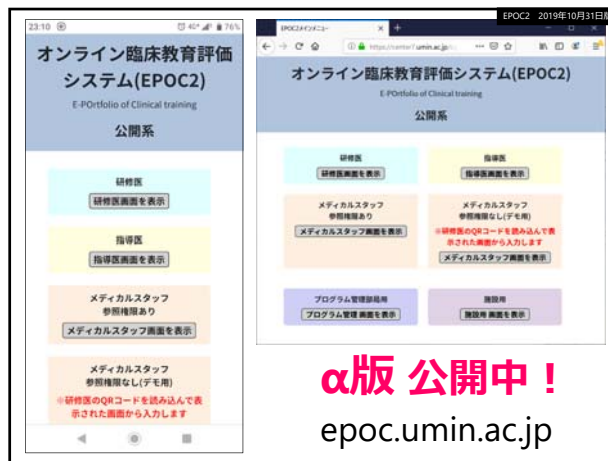
21



22



23



24